

さんいく 恭

賛育会後援会事務局・〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8 TEL 03-3622-7614・編集発行者 小泉 美壽

二〇一九年度定期役員会 決算確定・新会長就任・賛育会への寄付贈呈

二〇一九年六月一日、学士会館(東京都千代田区)において、賛育会後援会の定期役員会が開催されました。この役員会は、毎年六月に開催されています。後援会役員、賛育会役員、賛育会職員ら計二二名の出席を得て、二〇一八年度の事業報告ならびに決算、および二〇一九年度の事業計画ならびに予算について承認されました。



また、長年にわたって会長を務めて下さった徳久俊彦会長の辞任の意向を受け、新たな会長として木村庸五(きむら・ようご)氏が、副会長として垣内史堂(かきうち・てるたか)氏と西原良信(にしはら・よしのおぶ)氏がそれぞれ就任されました。

二〇一八年度は、会費や募金などで三二九万六二四円、一〇月二日に行われたチャリティコンサートでの益金が七一三万八千九百五十二円、合計で一〇四万三千五百八十一円の収入を得る事が出来ました。これに対し、広報費や通信費などの事務局経費と、全額が賛育会病院建て替えの資金として寄付されるコンサート益金を差し引いた当期繰越金は、二八三万六千五百五十二円となりました。



この当期繰越金の使途について協議の結果、例年通り全額を社会福祉法人賛育会の地域活動・社会貢献活動のために寄付する事が決定され、木村新会長から小堀洋志賛育会理事長に目録が贈呈されました。



徳久俊彦前会長 木村庸五新会長

二〇一九年度

賛育会後援会役員

- 会長 木村庸五氏
- 副会長 垣内史堂氏
- 理事 西原良信氏
- 駿河敬次郎氏
- 梶村慎吾氏
- 橋本章氏
- 雨宮栄一氏
- 小林道彦氏
- 山本和氏
- 井口延氏
- 青本健作氏
- 古田和彦氏
- 柴田光昭氏
- 徳久俊彦氏
- 名誉会長
- 監事

賛育会後援会長就任のごあいさつ

木村 庸五

この六月に賛育会後援会会長の任をおおせつかりました木村庸五です。賛育会の理事や評議員としての私の経歴はかれこれ二五年にもなりますが、賛育会のことには十分精通しておらず、おぼつかないかもしれませ

ん。しかし、西原良信副会長、垣内史堂副会長や賛育会のスタッフの方々とも緊密に協力し合って、精一杯後援会会長としての任務を務めていきたいと思っています。賛育会が斬新な活動を含め、幅広く社会貢献・地域貢献に励んで活躍している中、



後援会は、この賛育会の活動の基盤を強化すべく、後援体

制の拡充を進めなければならぬと思っています。

新たな支援の輪を拡げるために、後援会員の拡充と支援体制の強化、協力関係団体・支援団体との連携の確保等、工夫をこらし、様々な方法で、関係者と協力し合って募金活動を活性化させることで、賛育会の財務基盤を強化し、創意工夫をこらしてのびのびと地域活動・社会貢献活動を更に展開できるようにしていきたいと思えます。

そのためには、法人と連携して、賛育会の生き生きとした活動内容を多くの人に伝えるための広報活動の充実や、賛同者、支援者との体験交流などの活性化によって共感・支援の掘り起こし・拡充を行っていく必要があります。

これまで賛育会は、後援者に恵まれてきました。また、賛育会の活動への応援は、その時々に必要な資金の募金の形で行われてきました。

賛育会がその心がけるべき働きを明確に打ち出し、その実情を伝え、心からその活動の必要性を熱心に訴えかけるならば、必ずや人々の共感を生みだすでしょう。そして、人々がすすんで下さげる善意の資金と、ボランティア精神に基づいて提供される時間や労力によって、これまでと同様に賛育会活動の必要が支えられていくと信じています。

この伝統をしっかりとつなげていきましょう。

賛育会後援会会長

木村庸五



プロフィール

木村庸五(きむら・ようご)
弁護士(狛・小野グローカル法律事務所パートナー)

一九七〇年東京大学法学部政治学部卒業、一九八六年ミシガン大学ロー・スクール修士課程修了

現職

社会福祉法人賛育会評議員、東京大学学生キリスト教青年会監事、社会福祉法人銚子栄光福祉社会理事長、日本キリスト改革派湖北台教会長老

賛育会後援会長を退くにあたって

徳久 俊彦

去る六月の後援会役員会を機に会長を退くことになりました。

この間、様々な場で多くの方々に助けられ、支えられましたことに、心より御礼を申し上げます。

振り返れば一九八三年(昭和五八年)に当時の駿河敬次郎理事長の要請により、法人の監事に就任し、その後理事となり、一九九八年から二〇〇四年までは理事長を務めました。その後、後援会長を一五年務めました。通算すると三十六年も何らかの「役員」を務めたこととなります。この間も色々なことがありました。賛育会理事長時代は、介護保険への移行が大仕事でその影響は人事・給与・昇進制度にまで及びました。ま



の影 人事・給与・昇進制度にまで及びました。ま

た、老朽化した特養の建て替えに追われ借金を多く積み重ねました。病院や特養の食中毒事件もありました。

後援会は法人本体では寄附集めが出来なかつた時代に出来たのですが、介護保険になつて事情が変わっても存続されました。この間企業側の様子も変わり、メセナ活動が盛んとなつて募金の状況も変化し、トップにお願いすれば寄附を頂けた時代から、「社会貢献」担当部署にお願いしそこでの「審査」を通らないと頂けないことになつて来ました。また、賛育会病院建て替えの資金応援の為「チャリティ・コンサート」を行うこととなり、その主催は後援会、ということになりました。そこで私の役目も寄付集めからコンサートに重点が移りました。中でも昨年は一回目(内三回は

震災支援のため)となり創立百周年記念で大成功を収めることが出来ました。

しかし私自身は寄る年波に勝てずその後身体が急に弱りこの冬は身体中がこわばり、身動きが鈍重になりましたので、去る三月に満九〇歳を迎えたのを機に交代をお願いした次第です。

次期後援会を担って下さる、木村さんは高校時代から学生キリスト教運動をやつて来られた人で、大学卒業後は所謂「涉外弁護士」として、海外関係の訴訟や契約を長年取り扱つて来たベテラン弁護士です。私とは全く違ったキャラクターで職業も大きく違つておりますが、後援会を託せるに足る、信頼出来る人です。何卒宜しくお願い申し上げます。

本当に有難うございました。重ねて御礼申し上げます。

新名誉会長

六月一四日の役員会において、徳久俊彦前会長が名誉会長に推挙され、全出席役員の同意の下、同日付で名誉会長にご就任いただきました。

昨年度寄付金使途ご報告

後援会の皆さまからお寄せ頂いた昨年度のご寄付について、左表のように使わせていただきました。謹んでご報告申し上げますと共に、皆さまのご芳志に感謝申し上げます。

賛育会理事長
小堀洋志

賛育会病院	外国人医療費未収金補填	300,000	580,000
	いのちの授業	200,000	
	すみだジャズフェスティバル	80,000	
清風園	にここ清風食堂	250,000	250,000
第二清風園	オレンジドア町田	450,000	650,000
	鶴川やってみる会	200,000	
たちばなホーム	(仮称)たちばなカフェ	190,000	190,000
はなみずきホーム	長屋でランチ	300,000	450,000
	アポットカイ活動支援	150,000	
豊野事業所	幸福食堂	650,000	810,000
	町の保健室活動	90,000	
	いきいき塾	70,000	
東海清風園	よつばの家	550,000	550,000
	日本語教育支援	300,000	
法人事務局	ミャンマー国際活動	300,000	805,742
	地域活動報告書	205,742	
	地域活動紹介ムービー音楽入れ替え	0	
	合計	4,285,742	

